



校長通信

令和6年度19号 令和7年3月14日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《卒業式での学校長式辞について》

前号で、卒業式のことについて記載しました。その式で校長は、どのようなことを話したのか、式辞の原稿を今号で記載します。但し、私は原稿を用意しても、式では原稿を読みませんので、その場の雰囲気によって多少言葉が変わったり、省略したりしています。そのことを了知ください。

学校長式辞

校庭の桜のつぼみもふくらみはじめ、春の訪れを感じさせる今日の佳き日、和歌山市立河北中学校第78回卒業証書授与式を挙行できますことは、この上ない喜びであり、卒業生の皆さんの門出を心から祝福いたします。また、ご多忙の中、ご臨席賜りましたご来賓の皆様に厚く御礼申し上げます。

卒業生のみなさん、卒業おめでとう。この3年間、入学式の式辞でも、終業式や始業式のあいさつでも、みなさんに送った言葉がありました。なんていう言葉だったのでしょうか？そう、残心です。漢字では、心を残すと書く、残心。意味は、もう周知のことですが、最後にもう一度説明します。もともとは、武道のことばです。試合で、技を決めても、緊張を持続させ心身の備えを怠らない、勝負が決まっても油断をせず、相手のどんな反撃に対しても対応できるような身構えと気構えを持ちなさい、という教えです。3年間の中学校生活で、目標をもって様々なことに挑戦し、失敗してもくじけず、残心の精神で振り返り、次に生かしてほしいと話をしました。この3年間の振り返りができたか？

みなさんは、9年間義務教育を終え、それぞれ新しい進路先へ羽ばたいていきます。楽しいこと、うれしいことが待っています。また、悲しいこと、つらいこともあるでしょう。変化の激しい、先が予想にくい社会ですが、これからも、将来に夢をもち、夢を実現させるために目標を定め、その目標に向けて、踏み出してください。目標を達成できる人は、目標達成の日を具体的に掲げ、行動できる人だと思います。アメリカのライト兄弟が、12秒、36メートルの飛行に成功して、わずか66年後に人類は、月に降り立ちました。この快挙を達成したのは第35代合衆国大統領、ジョン・F・ケネディ氏の目標達成の時期を決め、それに向けて逆算して行動していく思考があったからだと言われています。1962年9月、ケネディ元大統領が行った演説は有名です。We choose to go to the moon. We choose to go to the moon in this decade 「わたしたちは月に行くことに決めました。1960年代中に人類を月に送り、安全に地球に帰還させる」と宣言したのです。目標を明確にし、それに向け、行動し、アメリカは目標を達成しました。人類は月に降り立ったのです。失敗を恐れず、前向きに、逆算思考で自分自身の目標達成に向けて、努力してほしい。そして、たった一度の人生、幸せに過ごしてほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。河北中学校での3年間を経て、お子様は心身ともにたくましく、成長されました。どうかお子様の輝ける前途を温かく見守り、時には励まし、これからも支えていただきますようお願い申し上げます。